

試合方法

120歳以上の部

ラウンドロビン方式で順位を決定する。
試合は6ゲーム先取、ノーアドバンテージ方式で行う。

130歳以上の部

ラウンドロビン方式で順位を決定する。
試合は6ゲーム先取、ノーアドバンテージ方式で行う。

140歳以上の部

2ブロックに分かれて予選リーグを行い、各ブロックの上位2チーム
で決勝トーナメントを行い順位を決定する。
試合は5ゲーム先取、ノーアドバンテージ方式で行う。

150歳以上の部

ラウンドロビン方式で順位を決定する。
試合は6ゲーム先取、ノーアドバンテージ方式で行う。

- ・ラウンドロビン方式での順位決定は、JTA ルールブックに従う。
- ・試合開始前、棄権等によりグループ間で構成チーム数に大きな差が生じたときはドロウを変更する
場合がある。
- ・試合当日の進行状況及び天候等で、試合形式を変更する場合がある。

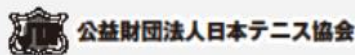
試合進行上のお願い

1. 試合前に必ず受付を行ってください。
2. 試合はオーダオブプレイに従って行います。但し試合の進行具合により変更する場合があります。
3. ドロウ表上位の選手は試合前に審判用紙とボールを本部に取りに来てください。試合終了後、勝者は
速やかに審判用紙と使用したボールを本部に届けて下さい。
4. ドロウ表上位の選手はスコアカード赤色とし、コートチェンジ時に必ず更新すること。
5. 練習は最初の試合のみ5分間の練習、以後はサーブ4本のみとします。
6. ニューボール2個で3試合使用する。
7. 会場を一時離れる場合は、必ず本部に届けて下さい。コール後15分を越えてコートに現われない時は
棄権と見なします。
8. 試合はセルフジャッジです、サーバーはカウントを相手に聞こえるようにはっきりコールをし、判定が
難しい場合は相手に有利になるようにジャッジして下さい。

注意事項

- ・試合中の事故等については、主催者側は責任を負いません。準備運動等自己管理をお願いします。
- ・体の不調を感じた時はただちに試合を中止し、勇気を持って棄権して下さい。

ジュニアテニス選手皆様へ
一般・ベテランテニス選手の皆様へ
指導者・保護者の皆様へ
大会主催者の皆様へ



テニス競技での セルフジャッジ5原則の 順守と推進のお願い



フェアプレイはスポーツの基本です。テニスも例外ではありません。それは、第一に対戦相手をレスペクトしてプレイすることです。

残念ながら、コート内では依然様々なトラブルが絶えません。その大半はポイントの判定に起因するもので、多くのテニス大会で採用されている「チェアアンパイアがつかない試合方法（セルフジャッジ）」が適切に行われていないことが背景にあると思われます。

そこで日本テニス協会は、プレイヤーの皆様、保護者、指導者そして大会主催者の皆様に、チェアアンパイアがつかない大会で正しいセルフジャッジを目指し、次のセルフジャッジ5原則の徹底とご理解をお願いすることとしました。

セルフジャッジでは、プレイヤーの人格が試されています。



セルフジャッジ5原則

- 1 判定が難しい場合は「グッド」(相手に有利に)!
- 2 「アウト」または「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき!
- 3 サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス!
- 4 ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに!
- 5 コートの外の人、セルフジャッジへの口出しはしない!



保護者の皆様には、目前の試合の勝ち負けに一喜一憂することなく、スポーツマンシップに則ったフェアな試合がおこなわれるように、お子様への温かいご支援よろしく申し上げます。